

令和6年度 病児保育どんぐり 事業報告

今年も新型コロナウイルス感染症感染やインフルエンザ拡大に伴い、発熱があり、上気道炎等の症状がある場合は、抗原検査を義務付けてきた。保育園の見学の際、病児保育のパンフレットを渡し、案内した。また、柿の実グループ園にもパンフレットを渡し新入園児に配布してもらった。登録者数は年々増え、病児保育どんぐりを知っていただく機会が増えてきた。

利用者が安心して過ごせるような環境を整え、体調管理をしっかりとしながら対応している。

回復期の時に園庭に出て遊ぶなど、気分転換するようにしている。

初めての子は泣いてしまう子もいれば少しずつ慣れ、また行きたいという子もいる。

年齢にあった玩具を準備し、その子の状況に合わせて好きな遊びを用意し、退屈しないようにきめ細かく配慮している。

体調が悪く戸外に行けない子も病児の部屋から外を眺めたりして、気分転換できるようにしている。病児保育室に新しく窓を設置し、更に明るくなり換気もできるようになった。保護者の方にも一日の様子を細かく伝えるようにし、安心して仕事に行っていただけるように信頼関係を保てるようにしている。

利用時間が8:30～18:00となっており、利用者が利用しやすくなっている。

今後も病児利用者が増えるようにパンフレットなどを配布したり、引き続きホームページによる宣伝などをしていきたい。利用者に対しては、いつも温かい気持ちで寄り添い、保護者の方が安心してお仕事に行けるような病児保育をこれからも目指していきたい。

以上